

第2回 宇和島港港湾脱炭素化推進協議会 議事録

1 開催日時 令和6年12月23日(月)10時30分~12時00分

2 開催場所 宇和島市役所 地下1階地下会議室

3 議事

(1) 宇和島港港湾脱炭素化推進計画の作成に向けた検討状況について

- 1) 前回の議事内容について
- 2) 宇和島港港湾脱炭素化推進計画について
- 3) アンケート調査結果について
- 4) 温室効果ガス排出量・吸収量の推計結果について
- 5) 港湾脱炭素化推進計画の目標について
- 6) 温室効果ガス排出量の削減目標・削減計画について
- 7) 水素・アンモニア等供給目標・供給計画について
- 8) 宇和島港の脱炭素化に貢献する取組について
- 9) 宇和島港港湾脱炭素化推進計画の検討スケジュール案について

(2) 意見交換

4 議事要旨

(1) 開会

(2) 議事

ア 宇和島港港湾脱炭素化推進計画の作成に向けた検討状況について
事務局から内容説明を行った。

イ 意見交換

・宇和島港の脱炭素化については、船舶の排気ガスによる影響が大きいと考えられるため、陸上電力供給設備が1つもないことが問題である。現場も含めて確認いただきたい。

⇒船舶の脱炭素化に関しては、停泊中の船舶に陸上電源設備により供給することで、排出量を減らすことにつながるが、船側・供給側双方の整備が必要である。陸上電源設備については、今後、利用者の要望等を踏まえながら、整備に向けた検討を行っていききたい。

・脱炭素化に向けた取組に関しては、事業活動に伴うCO₂排出量の削減として、ガス・電気エネルギーの使用等により、2013年度比で46%削減の目標を掲げている。宇和島を含めた四国地域への貢献としては、オフセットされたカーボンニュートラル都市ガスの利用、石油系から天然ガスへの転換の促進などが挙げられ、更に2050年に向けては引き続き技術開発の検討を行っている。

・温室効果ガスの排出量の推計結果について、ターミナル外と比べて、ターミナル内や出入船舶・車両のCO₂排出量が非常に少ない結果となっている。船舶の排出量削減を行ったとしても微々たるものであるため、ターミナル外の排出量削減を積極的に進めていく方が効果的か。

⇒他港においても、ターミナル内や出入船舶・車両の排出量に比べて、ターミナル外が約9割以上を占めているところが多いが、2050年にはカーボンニュートラルを目指しているため、区分の大小に関わらず全体で排出量ゼロを目指していききたいと考えている。

・宇和島市では令和4年度に宇和島市環境基本計画を策定しており、地球環境の保全として、地球温暖化対策の推進、低炭素型ライフスタイルへの転換、環境負荷の少ない地域づくりの推進などを図っている。

・宇和島港の温室効果ガス排出量は県内の他港と比べて少ない結果となっており、排出量自体が少ない中で削減していくことは大変なことではあるが、官民一体となって取り組んでいきたい。

(3) 閉会